

平成27年1月28日

第 19 回広島放射光国際シンポジウム 「真空紫外放射光を活用した物質科学研究の現状と展望ー」 を開催します

広島大学放射光科学研究センターは、国内外の研究者が本学の放射光実験設備を活用して共同研究を展開する共同利用・共同研究拠点です。放射光科学分野における先端的な研究と国際性豊かな教育を推進するため、毎年3月に国際シンポジウムを開催しています。

第19回のシンポジウムでは、日米欧の著名研究者をお招きし、初日は、本センターで推進している紫外線域の放射光を活用した研究の最前線を紹介頂きます。2日目は、放射光科学研究センターの将来計画である紫外線域の高輝度放射光を活用した研究課題の中で高輝度な紫外線レーザーを活用して進めている先端的な電子構造研究や光の新しい性質を探る国際的な取組みについて紹介します。

記

日 時:平成27年3月5日(木)~6日(金)

場 所:広島大学学士会館2階レセプションホール〈東広島市鏡山 1-2-2〉

対 象:学部生、大学院生、関係者、一般の方

定 員:なし(会場には100名以上の座席を準備)

言 語:英語

内 容:

■3月5日(木)初日

9:00 ~ 9:40 開 会 9:40 ~ 11:50 招待講演

13:10 ~ 14:50 ポスター発表(学生等の研究発表含)

14:50 ~ 18:30 招待講演

■3日6日(金)2日目

8:45 ~ 12:45 招待講演

12:45 ~ 12:50 閉 会

※招待講演者はドイツ、フランス、米国、ロシア、日本から14名。

【お問い合わせ先】

広島大学放射光科学研究センター(東広島キャンパス)

担当: 生天日

TEL: 082-424-6293 , FAX: 082-424-6294

E-mail: hsrc@hiroshima-u.ac.jp

URL: http://www.hsrc.hiroshima-u.ac.jp

第 19 回広島放射光国際シンポジウム

真空紫外放射光を活用した物質科学研究の現状と展望

VUV synchrotron radiation based materials science:

Present status and future prospects



対 象:学部生,大学院生,関係者,一般の方

定 員:なし(会場には100名以上の座席を準備)

<3月5日(木)初日>

9:00 ~ 9:40

9:40 ~ 11:50 招待講演

<物質中の電子構造に関する研究の最前線>

(ドイツ) (1) Dr. Jürgen Henk (Martin Luther University)

(2) Dr. Sergey Borisenko (IFW-Dresden) (ドイツ)

(3) Dr. Milan Radovic (Swiss Light Source, Paul Scherrer Institute) (スイス)

13:10 ~ 14:50 ポスター発表(学生等の研究発表含)

14:50 ~ 18:30 招待講演

<天然状態の生体分子立体構造に関する研究の最前線>

(スイス) (4) Dr. Tim J. Wooster (Nestec Ltd., Nestlé Research Centers)

(5) Prof. Reiko Kuroda (Tokyo University of Science) (日 本)

<物質中の電子のスピンに関する研究の最前線>

(6) Dr. Jörg Schäfer (Julius Maximilian University of Würzburg) (ドイツ)

(7) Prof. Dr. Oleg Tereshchenko (Novosibirsk State University) (ロシア)

(8) Assoc. Prof. Toru Hirahara (Tokyo Institute of Technology) (日 本)

<3日6日(金)2日目>

8:45 ~ 12:45 招待講演

<高輝度光利用研究:レーザーを活用した研究の取組み>

(9) Prof. Dr. Ulrich Höfer (Philipps-Universität Marburg) (ドイツ)

(10) Prof. Dr. Martin Aeschlimann (University of Kaiserslautern) (ドイツ)

(11) Assoc. Prof. Takayuki Kiss (Osaka University) (日 本)

<新しい光の性質を探る研究の取組み>

(12) Prof. Michel van Veenendaal (Northern Illinois University, APS) (米 国)

(13) Prof. Yasunori Toda (Hokkaido University) (日 本)

(14) Prof. Shigemi Sasaki (Hiroshima University) (日 本)

12:45 ~ 12:50 閉